

< 報告事項 >

1 自由民権資料館企画展「町田とお殿さまー江戸時代の領民と領主ー」の実施結果について

【概要】江戸時代の初めから明治初期にいたる260年余にわたる旗本と知行所の人びととの関係の移り変わりを、市域に残された貴重な史料を通じて紹介しました。

【期間】前期：10月4日(土)から11月9日(日)

来場者数:941人

後期：11月15日(土)から12月21日(日)

来場者数:1,086人

【会場】展示室1

【関連企画】

(1) 記念講演会

①「旗本知行割にともなう分郷と村びと」

日時:10月25日(土)14時から16時

講師:小林風(当館学芸員)

会場:国際版画美術館講堂

来場者数:45人

②「旗本家臣と多摩地域の村役人たち」

日時:12月7日(日)14時から16時

講師:野本禎司(開智国際大学教育学部准教授)

会場:国際版画美術館講堂

来場者数:63人

(2) フィールドワーク「市内のお殿さま関係史跡をめぐる」 ※各回とも定員20名

① 高ヶ坂・小川・金森・原町田方面(全行程約10km、健脚な方向け)

日時:11月2日(日)9時から13時30分

参加者数:18人

② 成瀬方面(全行程約6km)

日時:11月30日(日)9時から12時30分

参加者数:20人

(3) 担当学芸員による展示解説

前期3回、後期3回実施

6日間の実施で、合計106人の方が参加

(4) お家の家紋をしらべて、特製缶バッジをつくろう

前期2回、後期2回 缶バッジ作り体験を実施(対象は中学生以下)

4日間の実施で、合計19個の特製缶バッジを製作



2 「手仕事の技～小野路のメカイ作り再発見～」展の実施結果について(別添 ガイドブック)

【概要】小野路のメカイカゴやメカイ作りの道具を通じて、町田で受け継がれてきた伝統技術であるメカイ作りの歴史と現状について紹介しました。

【日時】1月19日(月)～1月30日(金)

【会場】町田市役所1階イベントスタジオ

【結果】来場者数：1,168人

【関連企画】

(1) 担当学芸員による展示解説会

1月25日(日) 参加者数：45人

1月28日(木) 参加者数：52人

(2) 図書コーナー

1月9日(金)から2月11日(水)まで、木曾山崎図書館に展示会関連図書コーナーを設置しました。



3 「文化財防火デー」消防訓練の実施結果について

【概要】1月26日(月)国指定重要文化財「旧永井家住宅」(町田市野津田町3270薬師池公園内)にて、「文化財防火デー」にちなんだ消防訓練を実施しました。防災課、公園緑地課、町田消防署、消防機器事業者の協力の下、旧永井家住宅周辺の消防用設備の使用方法について、確認を行うとともに、放水銃を使用し、実際に旧永井家住宅への放水訓練も実施しました。



4 文化財修繕等の進捗状況について

(1) 国重要文化財「旧永井家住宅」耐震診断

【概要・進捗】1月16日(金)に文化庁調査官の現地視察を東京都教育委員会、委託事業者の立ち会いの下、実施しました。

診断業務委託先の(株)文化財保存計画協会から、以下の報告を受けました。

- ◆地盤調査の結果、地盤の状態は良好
- ◆地震時に折損の可能性がある箇所が3カ所
- ◆梁はホゾが腐食している箇所が1箇所
- ◆だいどころ土間上に叉首の折損あり
- ◆破損箇所はいずれも一部屋根の解体が必要

【予定】立会いの中で、破損個所の修繕にあたり屋根等の一部解体を必要とすることや、屋根の葺き替え時期等を踏まえると、耐震補強工事と破損個所の修繕、屋根の葺き替え、落下により現在地面に降ろしている芝棟の復旧等を含めた保存修理工事を一体的に進める案が現実的であろうとの見解が示されました。

次年度は、折損が見られる箇所の添え木等の応急措置を実施しつつ、耐震診断結果に基づいた耐震補強計画案を策定します。耐震補強と保存修理を併せて実施する場合、現時点では、下記のスケジュールを想定しています。

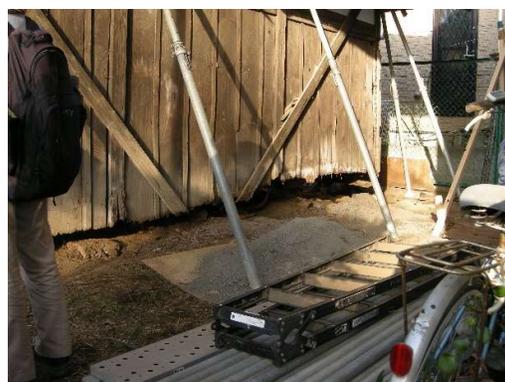
| | |
|--------|--------------------|
| 3月 | 耐震診断完了 |
| 2026年度 | 耐震補強計画案策定、応急措置(叉首) |
| 2027年度 | 耐震補強・保存修理基本設計 |
| 2028年度 | 耐震補強・保存修理実施設計 |
| 2029年度 | 耐震補強・保存修理工事実施 |



(2) 東京都指定史跡「青木家屋敷」オチャバ修繕

【概要・進捗】12月1日(月)から工事に着手しました。1月19日(月)に東京都教育委員会も同席し、経過の確認を行いました。揚屋により、礎石と柱の位置のズレ(東へ20~30cm)が確認されましたが、今回の工事では予定通り傾斜の修正のため、添え柱・筋違を設置して補強することとなりました。屋根は、既存の波板鋼板を残し、垂木・野地板でかさ上げし新規波板鋼板を打つほか、破損が激しい箇所は添え木補強を行います。礎石と柱の位置のズレの解消については、所有者と協議していきます。

3月 工事完了



5 「まちの歴史、さがしてみました～まちさが考古学講座～vol.2」について（別紙 チラシ）

【概要】 昨年度、初の試みとして第一回を開催し、大変ご好評をいただいた「まちさが考古学講座」を、本年度も開催します。この講座は、町田市と相模原市の両市民が境川沿いの歴史や文化について学ぶ機会を提供し、郷土への愛着や文化財保護意識の醸成を図ることを目的として、町田市教育委員会生涯学習総務課と相模原市教育委員会文化財課、相模原市立博物館とで連携して実施する考古学講座です。本年度は、境川兩岸に広がる遺跡の旧石器時代～縄文時代について両市の学芸員が調査成果を発表します。

【開催日時】 2026年2月21日(土) 午後1時～午後4時30分

【会場】 町田市生涯学習センター 7階ホール

6 国登録有形文化財「近代教科書関係資料(玉川大学収集)」の追加登録について

学校法人玉川学園が所有する「近代教科書関係資料(玉川大学収集)」について、2020年9月30日に12,728点が国登録有形文化財に登録されていますが、同学校法人が個人収集家等から新たに譲渡・寄贈を受けた同種の教科書群(台湾関係1,017冊、朝鮮関係1,087冊、満州関係55冊、南洋諸島関係6冊)2,165点について、今後追加登録を行い、あわせて一体的な保護を図る予定であるとのことです。

7 「町田市文化芸術のまちづくり計画」策定の進捗状況について

策定を進めている「町田市文化芸術のまちづくり計画」は、9月から10月にかけて市民意見募集を実施しました。11月に、有識者や文化芸術団体等の代表で構成する「町田市文化芸術のまちづくり計画策定懇談会」を開催し、市民および懇談会委員から寄せられた意見等を踏まえて原案を策定しました。その後、12月議会での行政報告を経て、現在は策定に向けた最終調整を行っています。計画は2月に策定し、4月に公表する予定です。

8 来年度の歴史資源活用事業について（資料1-2）

来年度の活用事業の予定についてご報告いたします。

※今後の調整の中で、内容・スケジュールの変更や中止となる場合があります。